



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 郡 悦清 幹事 梅本知秀 広報委員長 岡本 健



2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

電話(06)6345-1115(直通) 電話(06)6341-4411(ホテル) FAX(06)6344-8222 E-mail:temma-rc@lapis.plala.or.jp http://www10.plala.or.jp/temma-rc/

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

DECEMBER 24 2009 NO. 2049

家族月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2049回)
- 2) ソング 四つのテスト
- 3) 卓話 「健康寿命に就いて」
福井 興 会員
- 4) 1月度定例理事会

次々週(1月7日)のお知らせ

- 1) 例会 (2050回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 「新年の挨拶」
郡 悦清 会長

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

年の瀬も押し詰まり、残すところあと2週間となってまいりました。ご来訪のビジターの皆様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。会員の皆様多数のご出席ありがとうございます。

さて、先週はクリスマス家族会に多数ご参加下さいましてありがとうございました。皆様と共に大変たのしい一夜を過ごすことができました。嬉しく感じております。ご準備下さいました親睦活動委員会の皆様、改めまして感謝申し上げます。また一昨日は恒例になっております南大江保育所のクリスマス会に、小寺社会奉仕委員長はじめ13名もの会員の皆様にご出席頂きまして、誠にありがとうございました。特に、大人気のサンタクロースを演じて頂きました中野会員、見事な手捌きの手品を披露して下さいました松本会員に感謝致します。0歳から5歳までの124名の孫達に囲まれて、楽しい一時間程でした。

①(財)ロータリー米山記念奨学会より藤井弁

次会員・福原哲晃会員・石田道夫会員・川本浩会員・木村忠夫会員・楢田充生会員・中島豊彦会員・永田秀次会員・奥 崇会員・高松貞彦会員に米山功労者の感謝状が届いております。後程お渡しいたします。なお、当クラブにも功労クラブ(48回)の感謝状が届いております。

②地区より昨年度ポリオ撲滅のための寄付金にたいしての感謝状が届いております。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会のご案内が届いております。詳細につきましては掲示板をご覧ください。
- ②本日「2009～2010年度 下半期会費のお願い」を会員ポストにお届けしておりますのでよろしくお願ひします。
- ③「2009—2010年度 地区大会」の出欠のご返事がまだの方は至急お願ひします。
- ④次週例会終了後、1月度定例理事会を開催させていただきます。本日ご案内をさせていただきますので関係各位よろしくお願ひします。
- ⑤1月14日(木)に開催されますクラブ協議会の

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	2名	会員総数	73名	12月17日の出席率	71.88%
国内ゲスト	1名	会員出席	46名(64名)	4週間前(11月26日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	22名	メイクアップを含む出席率	84.38%
外国ゲスト	0名	会員欠席	18名	メイクアップ実施会員	3名(欠席者13名)

ご案内を本日させていただいております。出欠のご返事を事務局までお願いします。なお、1月7日(木)の例会日には上半期活動報告書・下半期活動計画書のご提出をお願い致します。

⑥例会終了後、第1回被選理事会を開催いたします。関係各位宜しく申し上げます。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の卓話者、小磯記念美術館の廣田生馬先生をどうぞ宜しくお願い致します。土井 憲一 結婚記念日自祝 南川 和茂 結婚記念日自祝。美しいお花を有難うございました。谷本 圭二 クリスマス家族会お世話になりました。ありがとうございました。川本 浩

12月10日クリスマス家族会では、オークション商品協賛及び協賛金をご協力頂きました。衣斐パスト会長・南川パスト会長・中川パスト会長・石田直前会長・中村エレクト・鋤田副会長・梅本幹事・勝見会員・安田会員・川原会員・谷本会員・奥会員・吉野会員・土井会員・山本会員・松本会員・全会員からの協賛金ありがとうございました。

山田 雅浩 山田委員長はじめ親睦活動委員会の皆様楽しいクリスマス会の素敵な企画ありがとうございました。吉野 正史 クラブ活性化のため中村副議長、山田雅浩事務局長はじめ協議会のメンバーの皆様、オブザーバーの皆様のご尽力に深く感謝の意を表します。

坂本 一民 中野会員、南大江保育所の大役ご苦労様でした。ありがとうございました。梅本 知秀 保倉先生大変お世話になりました。

お陰様で『世の中も良く見える』ようになりました。吉野 正史 関西大学、甲子園ボウルに勝ち大学日本一になりました。ありがとうございました。浅井 顯一 奥先輩、先日はありがとうございました。

中島 康之
平成21年12月17日 合計金 66,000円
累計金 1,509,000円

☆☆ 先週(12月17日)の卓話 ☆☆

「小磯良平の芸術と記念美術館」

神戸市立小磯記念美術館

学芸員 廣田 生馬様

土井 憲一 会員紹介

昭和を代表する洋画家の一人・小磯良平(1903 - 88)は神戸に生まれ、東京美術学校(現東京藝大)で藤島武二に師事しています。その後パリに留学し、帰国後は主に神戸・関西で活躍しました。さらに、戦争画制作のための従軍体験や空襲による罹災体験を経た戦後は、東京藝大の教授として長らく教鞭も執り、日本の洋画界の発展に尽力しました。人物画、とりわけ清楚な女性像を得意とし、その親しみやすい画風は国民的な人気を博し、1983年には文化勲章を授章しています。

小磯良平の他界後、ご遺族から寄贈された約2000点の作品などをもとに、記念美術館が1992年に開館し、以来17年間の様々な活動の中で、小磯芸術の顕彰に努めています。また、記念美術館では、小磯作品の紹介とともに、小磯良平にゆかりの深い画家たちの業績も積極的に紹介しており、現在は同時代の洋画家・宮本三郎の特別展を開催しています。あわせて、同時開催の小磯良平作品選では、朝日新聞社所蔵の鉛筆素描「美智子妃」の特別展示もおこない、来館の方々より好評を得ています。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

- ・スープ・ペイザンヌ
- ・ベルモット風味の舌平目のグラタン、
ボイルポテト添え
- ・季節のフルーツ取り合わせ
- ・ヒルトン特製ブレッド
- ・コーヒー

★メリークリスマス★

南大江保育所訪問

社会奉仕委員会は平成21年12月15日大阪市立南大江保育所にクリスマス訪問をしました。この行事は、当クラブ独自の地域密着型の社会奉仕活動を行なうという方針にもとづき、平成10年から始まりました。南大江保育所は大阪府中央区における唯一の公立の保育所です。保育されているのは0歳児から5歳児までの乳幼児で、合計123名です。そのほとんどは母子家庭か両親が共働きだそうであります。

今年度は、まず最初に5歳児の園児たちが、室内を暗くして、厳かにキャンドルサービスを演じました。そのあと、中野格会員の扮するサンタクロースが登場して、園児たちとの間で愉快的質疑応答をしました。園児たちはサンタクロースの姿に目を輝かせ、大喜びでした。

このあと、園児たちは、年齢順に、歌を唄ったり、お遊戯をしたり、楽器を演奏したりしてくれました。この間に、松本忍会員がトランプと輪を使って、マジックを披露しました。サンタクロースは演技の終わった園児たちに対し、お楽しみのプレゼントをしました。当クラブからも、保育所に対し、太鼓3台を寄贈しました。

その代わりに、我々ロータリアンは、元気一杯の子供たちから不景気を吹き飛ばすパワーをもらいました。

当日の参加者は次の方々でした。郡悦清会長・中村健輔会長エレクト・楯田充生副会長・梅本知秀幹事・山村朋史幹事エレクト、二宮秀造・松本忍・中野格・岡本健・山田雅則の各会員、社会奉仕委員会の小寺一矢・西井幾雄・松宮清隆の各委員の合計13名。

[文責・松宮]



♪大阪天満橋ローターアクトクラブ ♪

1月第1例会のお知らせ

日時：1月13日(水) 19:15~20:45

内容：「新年例会」
(担当：理事会)

場所：錦城閣

登録料：RC 8,000円

登録先：幹事 安原 亜也子

tenmabashi@rid2660rac.org

登録締切：1月11日(月)

四つのテスト

相模原南RC

作曲 水谷暢宏

真実か どうか

みんなに 公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

家族月間によせて

—“奉仕の理想”は家庭から—

国際ロータリー第2660地区ガバナー 大谷 透

2003-2004年度のR I 会長であったマジアベ氏は、ロータリーはロータリアンだけで成り立っているのではなく、そこには多くの人々、特に配偶者・家族の理解と支援があるからこそ、私たちロータリアンは、ロータリーの理念に基づき“親睦（友情）と奉仕”の業を実践できるのだと強調され、12月を「家族月間」にする事を提唱されました。

12月はクリスマス家族会など、会員家族を対象にした親睦交流のプログラムが恒例となっているクラブが多く、歴代R I 会長はこれを踏襲し、家族の大切さに思いをはせる月間として定着してきました。

我々の目指す健全な平和社会実現のためには、その最小単位である一個一個の家庭の健全さが重要な要素です。

家庭のありようが健全さを失えば、健全な平和社会は成り立つ筈がありません。

司馬遷の言葉「九牛一毛」はそれぞれが自分の家族を大切にしなければならないことを教えています。

家庭における教育の大切さが再認識されなければなりません。

そしてその成果が生み出されるためには、ロータリーの中核をなす価値観である「高潔さ」「思いやり」「リーダーシップ」は必須です。

先月はロータリー財団月間でした。

我々ロータリアンは、「世の中のためになる良いことをしよう」の標語の基に創られたロータリー財団に協力し、世界平和を夢見ます。しかし、もし自分の家庭さえも平和に保

つことが出来なくて、どうして世界平和が達成できるでしょうか。

ロータリーの綱領（目的）は、“奉仕の理想”（Ideal of service）を全生活の場に適用せよと励ましています。

先ず一番身近な家庭に適用することから始めましょうということです。

即ち、家族一人ひとりのニーズをよく汲み取り、理想的な形で満たしていきましょう、最もその家族に必要なことは何かを考えて尽力しましょう、ということです。

人間の普遍的で最も大きなニーズの一つは、人のためにした行為に対して感謝されることです。先ず日頃の協力に対する感謝から始めましょう。

家族同士がお互いの人格を尊重しあっている関係にあるかどうか反省してみましょう。

「家族月間」にあたり、まず家庭でロータリーを身につけることを意識しましょう。

知識を得ても、実践が伴わなければリーダーたり得ません。

どうか家庭内においても、リーダーとして家族の温もりを自ら作る実践を始めてください。

この年を互いに感謝の心をもって締めくくり、温もりのある家庭で新しい年を迎えましょう。

2010年が皆様のご家族にとって暖かな陽がさす年であることをお祈りします。

今回で今年最後のガバナーメッセージとなります。

ガバナー月信12月号から転載